



2015 年 8 月 18 日

お客様各位

### 天津港での爆発事故に関する調査速報

(情報: 1)

2015 年 8 月 12 日天津港の瑞海国際物流公司以発生した大規模爆発事故は現在も中国当局による調査が継続されておりますが、現時点の情報ではコンテナの火災鎮火のため、消火活動に使用した水が倉庫内にあった金属ナトリウムと接触し、大規模爆発の原因に至ったと推定されております。

事故現場の倉庫には金属ナトリウムを原料とする猛毒のシアン化ナトリウムが数百トン規模で保管されており、その流出による被害も懸念されており、事故現場から 3km 周辺域は、依然、入場規制が敷かれており詳細な被災状況は不明なままです。

この情報が少ない中、当会の中国現地法人であるC-NKKK天津では 8 月 17 日の午後、福士総経理を中心とした現地対策チームが海上側からボートで港湾の被災状況を調査いたしました。

現地調査結果を下記の通りご報告いたします。

1:

天津港の港湾施設で、ほぼ全てのコンテナヤードは通常通りの稼働状況となっています。また、岸壁に近いコンテナヤード内のコンテナ積みも5段前後と通常通りの保管状況でした。

爆心地に最も近いコンテナヤード(韓進海運使用バース)でも本船荷役を行っている状況下、港湾施設(ガントリークレーン、ヤード内トラクター、そしてRTG等のヤードハンドラー)も甚大な損害は免れていると思われます。



2:

コンテナ以外の鋼材、プラント等を取り扱う岸壁は爆心地から見てコンテナヤードよりも更に離れた場所にあり、通常荷役が行われ、岸壁側で貨物も輸送するトレーラーも通常走行を行い、岸壁近くにも貨物が野積み保管されていました。



3:

天津港(含む新港)には3か所の自動車荷役保管ヤードがありますが、爆心地に隣接した位置が最大の自動車保管ヤードであり、欧州からの輸入車、トヨタの中国工場生産車(トヨタ天津で中国国内向けに製造した車両であるカローラ、等)もこの保管場所がメインであります。保管場所が爆心地に近い保管場所では4000台を超える台数で焼損となっています。

報道では日本から輸出された三菱自動車も数百台含まれているとのこと。

しかしながら、海側からの調査では岸壁近くに保管していた車両については甚大な損害を免れていると思われます。同じく、岸壁近くに保管された建設機械、重機なども甚大な損害は見られませんでした。





4:

自動車保管ヤード内の自動車の管理棟(NYK 合併会社も入っている)および新車両保管新倉庫も建屋自体は海洋から見る限り甚大な損害は見られず、崩壊等もありません。

窓ガラス(あるかどうか不明)までは確認はできませんでしたが、仮に被害があったとしてもそれほど大きくは無いのではないかと推定されます。

他の建屋の被害の実例から、爆風で建屋内の配管が破損しているケースが多い模様です。スプリンクラー等が設置された倉庫では、水濡れ損害の可能性も否めません。

5:

爆心地に近い港湾合同庁舎では爆風により建屋および室内が大きな被害を受け、通関、入出管理機能を失っています。

但し、付近の同様の施設は被害を免れており、同施設による被害を受けた施設のバックアップ情報がどの程度できているかが不明です。

輸出入貨物は中国税関、CIQ等の当局の検査が必要ですが、建物の損害から推定して電算機の損害、システムの損害、データの損害を被っていた場合、検査処理、通関処理に深刻な影響が及ぶ可能性は否めません。

その他、日系スーパー(ジャスコ)、イオン、トヨタ現地工場、関連工場等の施設も爆風による被害を被っています。

6:

天津港への船舶入港規制は8月15日に解除された模様で、週明けから RORO 船を除く船舶の入出港は平常に戻りつつあるようです。

7:

自動車専用船を運行船会社からの情報では、当面、ヤードの残存物の取り片づけが不可能であり、適切な保管ヤードが準備できないこと、そして輸出入貨物の商品検査、通関業務が不可



能である現状から、中国向け車両輸送は広州、上海などの他の大型港湾(車両取扱い施設を有する)に輸送を振り替えるとのことです。

8:

その他の天津港での取り扱い貨物(コークス、プラント、風力発電ブレード等)の一部には近隣の港湾(秦皇島、青島(黄島))等の代替え港湾を使用して輸送を継続する企業もあり、8月17日時点では既に対応を行っている模様です。

9:

天津空港は被害を受けておらず、日本便はじめ航空便は通常運行されています。また北京空港経由、天津への陸上移動は問題ありません。

10:

天津市内のホテルは、現状では予約、宿泊可能です。(8月17日現在)

11:

天津市内、3km 入場規制地域以外では至って通常の生活に戻っています。

未確定情報ではありますが、3km 以内の立入禁止規制(毒物の在庫があるため)は、来週 8月 24 日頃以降には解除されるとの話です。

当会では天津爆発事故の翌日、8月13日に東京の技術本部である検査第一サービスセンターに角理事を本部長とする対策本部を設置しております。

天津ではC-NKKK天津の福士総経理を代表として現地対策チームを設置し、物流、貿易関係者の皆様のご要請に迅速かつ的確に応じる体制を構築しております。

対策本部の連絡先は以下の通りでございます。

対策本部(貨物損害チーム)

電話:03-3454-7594

FAX:03-3454-7589

チーム代表アドレス:[1sc-cargo@nkkk.or.jp](mailto:1sc-cargo@nkkk.or.jp)

能勢正貴:[m-nose@nkkk.or.jp](mailto:m-nose@nkkk.or.jp)

橋本恵介:[k-hashimoto@nkkk.or.jp](mailto:k-hashimoto@nkkk.or.jp)